

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」個別事業の評価一覧

事業の評価															予算			担当課				
■ 施策(11) 社会的養護が必要な子どもへの支援															予算			※太字が評価を記載した課				
【Plan】計画						【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善	予算								
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	28年度の事業計画	28年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由(分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算事務事業名	決算額・次年度予算額【千円】	備考					
1	238	児童養護施設処遇改善事業	児童養護施設を対象に、発達障害児や知的障害児などの処遇困難児を受け入れる人数に応じて、職員を加配する費用を補助し、処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保する。あわせて、職員配置の充実を図る。	・処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保するため、職員配置の拡充を図る。	①児童養護施設への職員加配費用補助	①9人の職員加配。	加配する職員数	単年度目標	適切な加配	適切な加配	適切な加配	順調	・職員を加配する費用を補助することにより、処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保できた。	・処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保するため、引き続き職員配置の拡充を図る。	児童養護施設処遇改善事業	決算	19,835		子家・子育て支援課			
							【現状値】	実年度	11人	9人						予算	28,722					
							【目標】	適切な加配	達成率	122%	100%											
							適切な加配	達成率	計画目標	122%	100%											
1	239	地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの実施(児童養護施設等措置費)	児童養護施設等において、家庭的な環境の中で職員との個別的な関係を重視したケアを提供するため、小規模なグループ(原則6名以内)によるケアを実施する。	・整備目標達成に向けて、各施設に整備を働きかける。	①地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの運営 ②地域小規模児童養護施設・小規模グループケアの整備	①実施箇所数 小規模グループ13か所 地域小規模児童養護施設3か所 ②地域小規模児童養護施設0か所開設	地域小規模児童養護施設・小規模グループケア実施か所数	単年度目標	現状値比増	前年度比増	前年度比増	順調	・昨年度開設した施設も含めて順調に運営され、小規模の落ち着いた環境の中で入所児童が生活することができた。	・小規模グループケアは、児童を小規模の落ち着いた環境の中で生活させ、児童に決め細やかなケアを実施できることから被虐待児等への支援としても有効であり、引き続き各施設に整備を働きかける。	児童養護施設等措置費	決算	1,927,785の一部		子家・子育て支援課			
							【現状値】	実年度	15か所	16か所						予算	2,336,800の一部					
							【目標】	23か所(H31年度)	達成率	136%	107%											
							23か所(H31年度)	達成率	計画目標	65%	70%											
1	240	自立援助ホームの運営(児童養護施設等措置費)	児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、共同生活を営む住居において、相談その他の日常生活上の援助および生活指導、就職支援を行うことで、社会的自立の促進に寄与する自立援助ホームを運営する。	・児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、日常生活上の援助及び生活指導、就職支援を行い、社会的自立を促す。	①自立援助ホームの運営	①自立援助ホームの運営 卒園者3人	就職等自立児童数	単年度目標	現状値比増	前年度比増	前年度比増	順調	・日常生活上の援助及び生活支援等を行い、卒園児等の自立までの居場所、自立支援に寄与している。	・児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、引き続き支援を行い、社会的自立を促す。	児童養護施設等措置費	決算	1,927,785の一部		子家・子育て支援課			
							【現状値】	実年度	3人	3人						予算	2,336,800の一部					
							【目標】	増加	達成率	43%	100%											
							増加	達成率	計画目標	43%	43%											
1	241	児童養護施設等入所児童への運転免許取得費助成など自立支援事業	児童養護施設等の退所を控えた児童等を対象に、普通自動車運転免許取得費や就職に有利な資格取得費の一部を助成することにより、児童の自立を支援する。また、大学等の入学金の助成や生活費の支援を行い、進学希望に応える。	・事業を継続実施し、対象児童の自立を支援する。	①運転免許取得希望者への助成 ②資格取得希望者への助成	①助成額:5,200,000円 助成人数:26人 ②助成額:84,020円 助成人数:12人	運転免許等取得者数	単年度目標	現状値比増	前年度比増	前年度比増	順調	・就職時に有利になる資格の一つである自動車運転免許取得及びその他資格の取得は、入所児童の自立を促進する上で有効であり、申請のあった児童全員に各種助成を行うことができた。	・自動車免許運転免許の取得やその他資格の取得は、就職の際に有利であるが、入所児童等にとって金銭面での負担が大きいため、事業を継続し、引き続き助成を行うことによって、入所児童等の自立を支援する。	児童養護施設等入所児童自立支援事業	決算	16,513		子家・子育て支援課			
							【現状値】	実年度	35件	38件						予算	48,145					
							【目標】	増加	達成率	194%	109%											
							増加	達成率	計画目標	194%	211%											

事業の評価															予算			担当課	
■ 施策(11) 社会的養護が必要な子どもへの支援															予算			※太字が評価を記載した課	
【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善	予算						
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	28年度の事業計画	28年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由(分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算事務事業名	決算 事務事業名	決算額・次年度予算額【千円】	備考	
1	242	児童養護施設入所児童等の身元保証人確保対策事業	施設入所児童等が就職や住宅を賃借する際、施設長等がその保証人を引き受けやすくするため、その損害賠償等を補償する保険に自治体負担で加入し、施設入所児童等の退所後の自立を促進する。	・必要に応じて支援する。	①身元保証人に対する保険加入	①保険加入22人	身元保証人確保対策事業利用者数 【現状値】	単年度目標	必要に応じ支援	必要に応じ支援	必要に応じ支援	順調	・希望する児童等全てに対し支援できている。	・必要性に応じて支援する。	児童福祉施設総合支援事業	決算	479		子家・子育て支援課
							13人 (H26年度)	単年度実績	14人	22人									
							【目標】	達成率	-	-									
							-	計画目標達成率	-	-									
1	243	入所児童の権利擁護のための調査審議等を行う審査部会の社会福祉審議会児童福祉専門分科会への設置	市内の児童養護施設等で発生した被措置児童等への虐待に対し、入所児童の権利の侵害を救済し、心身の健全な成長を図るため、その権利の擁護に向けた調査審議等を行い、市長に対して対応方針等について意見を述べます。	・必要に応じて開催する。	①社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催	①H28年度の開催なし	会議の開催 【現状値】	単年度目標	必要に応じ開催	必要に応じ開催	必要に応じ開催	順調	・平成28年度の開催はなかったが、措置児童等に対する虐待事案が発生した際の諮問調査機関であるため、有効性は高い。	・必要に応じて開催する。	予算なし	決算	-		子家・子育て支援課
							-	単年度実績	0回	0回									
							【目標】	達成率	-	-									
							-	計画目標達成率	-	-									
2	244	ファミリーホームの運営(児童養護施設等措置費)	家庭的養護を促進するため、保護者のいない児童などに対して養育者の住宅を利用し、児童の養育・自立支援を行う。あわせて、ファミリーホームの普及・促進に努める。	・ファミリーホームの整備を行う。	①ファミリーホームの運営 ②ファミリーホームの整備	①②実施か所数: 7か所	実施か所数 【現状値】	単年度目標	現状値比増	前年度比増	前年度比増	順調	・ファミリーホーム実施か所数は前年度と同数を維持している。また、ファミリーホームを整備運営し、社会的養護が必要な子どもに対し、家庭的養護の中できめ細やかで手厚いケアを実施した。	・家庭的養護を促進するため、引き続きファミリーホームの整備を推進する。	児童養護施設等措置費	決算	1,927,785の一部		子家・子育て支援課
							6か所 (H25年度)	単年度実績	7か所	7か所									
							【目標】	達成率	117%	100%									
							11か所 (H31年度)	計画目標達成率	64%	64%									
2	245	里親促進事業	家庭での養育に欠ける児童に対して、家庭的な環境の下で愛着関係を形成しつつ養育を行う里親委託を推進するため、制度の普及啓発や里親への支援を総合的に実施する。	・里親・ファミリーホーム委託の推進	①里親登録者増加のための普及啓発活動の実施	①里親制度の普及啓発活動を行った。 ・市政だよりやホームページ、地域情報誌等への掲載 ・出前講演 1回実施	要保護児童に対する里親・ファミリーホームの委託率 【現状値】	単年度目標	現状値比(14.2%)増加	前年度比増加	前年度比増加	順調	・要保護児童に対する里親等委託率も目標値を上回り、また、制度の普及啓発や登録里親への研修会や交流会を実施し、里親等を支援・促進することができたことから、「順調」とした。	【課題】 ・里親登録者数の増加 ・里親の資質向上 ・里親の孤立化防止 ・里親委託率の向上 【改善】 ・里親制度のさらなる普及啓発 ・登録里親へのより有効な研修会等の実施 ・里親等への総合的、継続的な支援	里親促進事業	決算	3,016		子家・子ども総合センター
							14.2% (H25年度)	単年度実績	17.5%	20.8%									
							【目標】	達成率	123.2%	118.9%									
							20.0% (H31年度)	計画目標達成率	87.5%	104.0%									
2	246	家庭生活体験事業(一日里親事業)の充実(児童養護施設等措置費)	児童養護施設に入所している児童に温かい家庭生活を体験する機会を設け、児童の社会性の涵養や情緒の安定、退所後の自立を促進する。	・児童養護施設等入所児童に家庭生活を体験させる当事業を推進し、児童の社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立を促進する。	①一日里親事業の実施	①一日里親事業の実施 利用児童: 352人。	家庭生活体験児童数 【現状値】	単年度目標	-	-	-	順調	・希望する児童養護施設の入所児童全員を家庭生活体験事業に参加させることができた。	・児童養護施設等入所児童に家庭生活を体験させる当事業を推進し、児童の社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立を促進する。	児童養護施設等措置費	決算	1,927,785の一部		子家・子育て支援課
							364人 (H26年度)	単年度実績	378人	352人									
							【目標】	達成率	-	-									
							-	計画目標達成率	-	-									